

Catalyst 3850 スイッチのよくある QoS エラーメッセージ

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[クラスマップ](#)

[% 空のクラスはサポートされません](#)

[% GigabitEthernet1/0/1 上で障害が発生したため Range コマンドは終了しました](#)

[キューイング](#)

[% キューイング アクションは、dscp/cos/qos-group/precedence に基づく分類でのみサポートされます。](#)

[% このプラットフォームではキュー制限は部分的にだけサポートされます](#)

[% ポリシー名のキューイングにおけるクラスの順番がインストールされたポリシーと一致していません](#)

[% クラス内に 1 つのキュー制限タイプのみが許可されます。](#)

[シェーピング](#)

[% shape average コマンドはこのインターフェイスではサポートされません](#)

[テーブルマップ](#)

[% 削除できません。テーブルマップはポリシーマップで使用されています。](#)

[% 各方向のターゲット単位で複数のテーブルマップはサポートされません](#)

[% テーブルマップありのポリシング アクションでは優先順位機能は許可されません](#)

[% テーブルマップ アクションは優先順位機能と併用されるポリシングでは許可されません](#)

[% テーブルマップありのマークダウンのみがサポートされます](#)

[ポリシング](#)

[% 1 レート 3 カラー ポリサーはサポートされません](#)

概要

この投稿の目的は、Catalyst 3850 シリーズ スイッチ上で QoS 機能を設定するときに取得する一般的なエラー メッセージを収集することです。例では、IOS XE バージョン 03.03.05SE を使用して行われました。

前提条件

Catalyst 3850 スイッチ上での Modular Quality of Service (QoS) コマンドライン インターフェイス (CLI) の設定に関する理解があること。

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Catalyst 3850 シリーズ スイッチに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、デフォルト設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

クラスマップ

% 空のクラスはサポートされません

例：

```
class-map match-any realtime
class-map match-any priority
class-map match-any missioncritical
class-map match-any transactional
class-map match-any scavenger
```

または

```
policy-map Edge-QoS
class realtime
class priority
class missioncritical
class transactional
class scavenger
class class-default
```

```
3850(config-pmap-c)#interface Gi 1/0/1
3850(config-if)#service-policy input Edge-QoS
3850(config-if)#
*Mar 11 09:12:59.897: Empty class unsupported
```

制限：

- 一致ステートメントなしのクラスマップはサポートされません
- 空のアクションのあるクラスマップはサポートされません

回避策：

- クラス デフォルトのテーブルマップを使用し、空のクラスを削除してください
- [CSCun54503はIOSおよびFEDで空のクラスチェックを削除しました](#)。IOS XEバージョン 3.6.1以降で修正。

% GigabitEthernet1/0/1 上で障害が発生したため Range コマンドは終了しました

例：

```
int range Gi1/0/1 - 24
service-policy input queueing
% Range command terminated because it failed on GigabitEthernet1/0/1
```

制限：なし

回避策：

- QoS の設定中にエラーが発生しました。単一のインターフェイス上で試行し、どのようなエラーがあるかを確認してください。
- 入力に許可された入力キューイングはありません

キューイング

% キューイング アクションは、dscp/cos/qos-group/precedence に基づく分類でのみサポートされます。

例：

```
access-list 150 permit ip 172.16.2.0 0.0.0.255 172.16.1.0 0.0.0.255
```

```
class-map match-any san_traffic
match access-group 150
class-map match-any non-client-nrt-class
match non-client-nrt
!
policy-map port_child_policy
class non-client-nrt-class
bandwidth remaining ratio 10
class class-default
shape average percent 10
service-policy port_child_policy
```

制限：エラー メッセージと同じです

回避策：

- ACLに一致する入カトラフィックにDSCPマーキングを設定する入力ポリシーを作成するか、
- キューイングの代わりにポリシー レート機能を使用してください。

% このプラットフォームではキュー制限は部分的にだけサポートされます

例：

```
class-map queue
queue-limit cos 1 2 3 4
```

制限：

- キュー制限ステートメントごとに有効な CoS 値が 1 つだけあります。最初の値の後のパラメータはパーセント値でなければなりません。

回避策：

- 複数のキュー制限ステートメント上に CoS 値を分散させてください。

```
class-map queue5
  queue-limit cos 1 percent 10
  queue-limit cos 2 percent 20
  queue-limit cos 3 percent 30
  queue-limit cos 4 percent 40
```

% ポリシー名のキューイングにおけるクラスの順番がインストールされたポリシーと一致していません

例 :

!Creating class-maps queue1 and queue2

```
class-map queue1
match cos 5
match dscp 46
```

```
class-map queue2
match cos 2 4 3 6
match dscp 16 18 20 22 26 32 34 36
```

!Assigning queueing features to queue1 and queue2

```
policy-map queueing
class queue1
  shape average percent 70
```

```
class queue2
bandwidth remaining percent 10
```

!Applying the policy-map queueing to interface Gi1/0/1

```
interface gi1/0/1
service policy output queueing
```

!Creating class-maps queue5 and queue6

```
class-map queue5
match cos 1
match dscp 8 10 12 14
```

```
class-map queue6
match cos 5
match dscp 46
```

!Assigning queueing features to queue5 and queue6

```
policy-map queueing2
class queue5
  shape average percent 70
```

```
class queue2
bandwidth remaining percent 10
```

!Applying the policy-map queueing to interface Gi1/0/2

```
interface gi1/0/2
service policy output queueing2
% Order of classes in policy name queueing2 is not consistent with installed policy
```

制限 :

- すべての有線キューイングベース ポリシーの分類シーケンスはすべての有線アップストリームポート (10 ギガビット イーサネット) で同じであり、すべてのダウンストリーム有線ポ

ート (ギガビット イーサネット) で同じです。

回避策 :

- 最初に設定されたキューイングベースのポリシーマップと同じクラスの順番を使用してください。10GE モジュールのインターフェイスにポリシーマップを適用する場合、このメッセージは表示されません

% クラス内に 1 つのキュー制限タイプのみが許可されます。

例 :

```
policy-map port-queue
class dscp-1-2-3
  bandwidth percent 20
  queue-limit dscp 1 percent 80
  queue-limit dscp 2 percent 90
  queue-limit cos 3 percent 100 <<<
```

回避策 :

- DSCP を使用するキュー制限用と COS を使用するキュー制限用として 2 つの異なるクラスを設定してください

シェーピング

% shape average コマンドはこのインターフェイスではサポートされません

例 :

```
class-map queue5
match cos 1
match dscp 8 10 12 14
```

```
class-map queue6
match cos 5
match dscp 46
```

```
policy-map queueing2
class queue5
shape average percent 70
```

```
class queue2
bandwidth remaining percent 10
```

```
interface gi1/0/1
service-policy input queueing2
```

制限 :

- 入力に許可されたキューイング アクションはありません。

回避策 :

- なし。マーキングとポリシング アクションのみが入力に許可されています。ポートごとの入

カキューは 1 つだけです。

テーブルマップ

% 削除できません。テーブルマップはポリシーマップで使用されています。

例：

```
3850(config-if)#auto qos voip trust
% Cannot be deleted. Tablemap being used in policy maps.
AutoQoS Error while generating commands on Gi1/0/3.
```

```
sh run
-- Output ommited
```

```
policy-map WAN-QoS
class class-default
shape average percent 20
service-policy VoIP-QoS
-- Output ommited
```

```
interface GigabitEthernet1/0/1
service-policy out WAN-QoS <- Queueing-based policy already attach to other interface in the
same stream
```

制限：

- すべての有線キューイングベース ポリシーの分類シーケンスはすべての有線アップストリームポート (10 ギガビット イーサネット) で同じであり、すべてのダウンストリーム有線ポート (ギガビット イーサネット) で同じです。
- 各方向の有線ポートごとに 1 つのテーブルマップのみがサポートされます。
- 別のインターフェイス上にキューイングベースのポリシーマップがすでにあるため、異なるキューイングベースを削除または追加しようとする、その試みは失敗します。
- [CSCtz51125 バグごとに予測される動作。](#)

回避策：

- 同じストリーム内のすべてのインターフェイス (10GE または 1GE インターフェイス) 上の古いキューイングベースのポリシーマップを削除してください。
- 新しいキューイングベースのポリシーを適用しても、さらなる問題を引き起こすことはないはずで

% 各方向のターゲット単位で複数のテーブルマップはサポートされません

例：

```
policy map bw-with-table
class class-default
bandwidth percent 10
set cos dscp table default
set dscp dscp table default
```

```
int gig2/0/1
 service-policy output bw-with-table
```

制限 :

- CLI はポリシーマップがインターフェイスにアタッチされるときフラットなポリシーマップのブロックであり、[CSCuc91333 に準拠した 03.03.00SE 以前のイメージの子ポリシーのブロックではありません。](#)

回避策 :

- 有線ポートの場合、ポリシーマップごとに 1 つのテーブルマップがサポートされます。

% テーブルマップありのポリシング アクションでは優先順位機能は許可されません

% テーブルマップ アクションは優先順位機能と併用されるポリシングでは許可されません

例 :

```
policy-map priority-rate
 class priority-one
  priority level 1
  police cir 256000 conform-action transmit exceed-action set-dscp-transmit dscp table test
```

制限 :

- このプラットフォームでは、有線キューと、テーブルマップを使用して DSCP/COS/IPP 値を設定するポリシング アクションの組み合わせはサポートされません。

回避策 :

- 「exceed-action set-dscp-transmit」行の削除を試み、代わりにそれを drop アクションとして設定し、ポリシーマップに再適用してください。

% テーブルマップありのマークダウンのみがサポートされます

例 :

```
Policy-map my-policy
 class voip_signal
  set dscp cs2
  police cir 32000 bc 8000
   conform-action transmit
   exceed-action set-dscp-transmit cs3
```

制限 :

- テーブルマップは、レートが超過するたびにポリサーを使用して動的に DSCP/COS/IPP 値を変化しようと試みするときに必要です。

回避策 :

- レートが超過したら必要なマークダウン値でテーブルマップを作成し、ポリシーマップに適

用してください。

```
table-map CS2toCS3
map from 24 to 16
default copy
```

```
policy-map my-policy
class voip_signal
set dscp cs2
police cir 32000 bc 8000
conform-action transmit
exceed-action set-dscp-transmit default dscp table CS2toCS3
```

ポリシング

% 1 レート 3 カラー ポリサーはサポートされません

例 :

```
policy-map CiscoPhone-Input-Policy
Class Voip-Data-Class
set ip dscp ef
police cir 256000 bc 16000 be 16000
conform-action transmit
exceed-action set-dscp-transmit dscp table policed-dscp
violate-action drop
```

制限 :

- このプラットフォームでは、1 レート 2 カラー ポリサーおよび 2 レート 3 カラー ポリサーのみがサポートされます。

回避策 :

- 2 レート 3 カラー ポリサーを使用するように PIR 値を設定するか、または「be」値と違反アクションを削除して 1 レート 2 カラー ポリサーを設定してください。

```
policy-map CiscoPhone-Input-Policy
Class Voip-Data-Class
set ip dscp ef
police cir 256000 bc 16000 pir 512000 be 16000
conform-action transmit
exceed-action set-dscp-transmit dscp table policed-dscp
violate-action drop
```